



● 第二殿田橋りょう

発行=日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1
Tel=0771-72-0017 Fax=0771-72-1375
E-mail=h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp
<http://www.720017.or.jp/>
2021年4月発行



通常総代会の報告

去る、3月27日（土）午後1時30分から、南丹市日吉町生涯学習センター（遊・YOU・ひよし）をお借りして「令和2年度（第54事業年度）通常総代会」を開催しました。

昨年同様、コロナウイルス感染拡大防止のため、出来る限り書面議決の提出をお願いしていたこともあり、当日の総代出席は1名でありました。また、来賓につきましても当日のご出席をご遠慮いただき、ご祝辞のみのご披露とさせていただきますました。ご祝辞は京都府南丹広域振興局局長・前川二郎様、南丹市長・西村良平様、南丹市議会議長・谷尻宣雄様、京都府森林組合連合会会長・青合幹夫様から頂戴いたしました。

当日出席いただいた総代1名（塩内公博様）と、事前に届け出いただいた152通の書面議決書を足し合わせると153名となり、総代会成立要件である総代定数（205名）の過半数を超え、総代会は成立となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で夏以降木材価格が大幅に下落し、森林組合の主力事業である木材生産を主

とした森林整備事業が、思うように進められない事態になりました。一方でご自宅裏の危険木の伐採や、町外での台風被害木処理などの事業を多く受注することが出来ました。その結果として事業総取扱高は4億3千万円を超え、厳しい事業運営ではありましたが、税引前純利益701万円を確保することができました。この結果につきましては、組合員の皆様をはじめ、関係諸団体の皆様方に多大なるご支援とご協力をいただいたお陰です。ここに深く感謝申し上げますとともに、5%の出資配当を提案させていただきますました。

令和2年度事業報告及びそれに関連する内容、令和3年度の事業計画及び関連項目の全12議案をご提案させていただきます、全て原案どおり承認いただきました。

なお、今年役員改選の年となり、第9号議案で承認いただきました新役員の方々を紹介させていただきます。

【理事】

1区（世木）

田中 紀文・湯浅 俊治・湯浅 勲

湯浅 莞爾・松本 豊

2区（胡麻郷）

塩貝 洋一・仲村 哲・芦田 俊孝

塩貝 文明・吉田 繁治
3区（五ヶ荘）

山形 茂登雄・村山 好明・廣瀬 健一
井上 克己・森 正彦

【監事】

1区（世木） 中川 智晴

2区（胡麻郷） 和久田 哲夫

3区（五ヶ荘） 香川 和輝

※敬称略

コロナウイルスの影響で、今年もこれまでとは違う総代会となりましたが、総代の皆様を始めご祝辞を頂戴した皆様には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。また、全ての組合員の皆様に、今後とも変わらぬご指導やご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、通常総代会の報告とさせていただきます。

（小林）



代表理事組合長就任あいさつ



桜吹雪が舞い、そよ風が肌に心地よい季節となって参りました。皆様方におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、去る3月27日に行われた総代会後の理事会において、私こと湯浅勲が代表理事組合長に選任されました。これにより、甚だふつつかな者が向こう3年間にわたって日吉町森林組合のかじ取りを担わせていただくことになりました。

浅学非才の上にもとよりその器ではなく、どれほど皆様方のお役に立てるかわかりませんが、理事・職員をはじめ、組合員の皆様方のご協力を得ながら、何とか与えられた重責を果たして参る所存です。ですので、よろしくご指導ご鞭撻のほどをお願いしたいと存じます。

また、私とともに組合運営にあたって

いただける副組合長理事には、胡麻郷地区選出の『塩貝文明』氏が就任され、代表監事には五ヶ荘地区選出の『香川和輝』氏が就任されましたことをご報告申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

次に、3年間の運営についてですが、このところ不安定な国際情勢から、木材需給も目まぐるしく変わり、その上に新型コロナウイルスも未だ収束のメドすら立っていない状況です。つい1年前まではインバウンドであれば賑わっていた飲食業界やホテル業界、航空業界などを見ると、まさに台風の目に放り込まれたような状況の中で経営をしていると言っても過言ではないように見えます。ただ、木材については予想に反して年明け前後から品薄感が出始め、価格もやや上昇に転じてきました。

そうした中で、日吉町森林組合のような小規模事業体が採れる戦略は、月並みですが「地に足をつける」つまり「原点回帰」しかないのではないかと考えています。具体的には、コツコツと努力を重ねて技術を高め、作業のムダを省くこと。チームワークを高めること。5GやAIなどの新しいテクノロジーについても、身の丈に合う範囲で採り入れるこ

となどでコストを下げ、結果として顧客満足度を高めていくのが定石だろうと、このように思うのです。

したがって私の任期(3年)は、日吉町森林組合をさらに磨き上げて、ワンランク上のレベルへアップさせる期間に充てられるように努力したいと思っております。

以上、要領のいい挨拶にはなっていないかも知れませんが、最後に皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

代表理事組合長 湯浅 勲





宇野 齊代表理事組合長 退任にあたり

例年より早い満開の桜、春爛漫の季節を迎えました。組合員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私、宇野 齊は平成18年に理事に就任させていただいて以降、15年に渡り組合の運営に携わって参りました。また、平成27年度からは代表理事組合長という大役を仰せつかってきましたが、さる3月27日の通常総代会において、任期満了により退任させていただきました運びとなりました。

その間、台風・暴風雨等自然の猛威を改めて認識させられましたし、昨年には新型コロナウイルスという新たな脅威に遭遇し、世界中で猛威を振るう結果となりました。このウイルスは、人への影響に留まらず、世界経済をも混乱させました。日本経済も、まだまだ先行きの見えない状況にあり、特に飲食業や観光業を中心に我慢の状況が続いております。林業界においても昨年夏頃より原木価格が急落するなど、大きな影響を受けました

が、10月頃より徐々に木材価格も上向き始め、今では様々な要因が絡み合い、結果として木材価格がコロナ禍以前に戻りつつあります。

在任中は、役職員一丸となりお支えいただき、お陰様で大過なく任期を務めることができました。

また、改めて、今日までご指導ご鞭撻いただきました関係各位の皆様、組合員の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

今後は、新役員体制の下での組合運営に対し、これまでと変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後に、日吉町森林組合の限りない発展と皆様方の益々のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。意を尽くせませんが、お礼の挨拶とさせていただきます。

令和3年4月吉日

宇野 齊



木材価格の動向について

昨年夏前から木材価格が下落し始め、一時は2,000円前後値下がりしました。結果、組合としても木材生産を縮小せざるを得ない状況となったわけですが、昨年秋頃より少しずつ回復の兆しが現れ始め、ここに来て一気に価格上昇に転じました。

正直、価格の回復はもう少し先になるのではないかと予想しておりましたが、嬉しい驚きとなっておりませんが、様々な要因が重なって価格上昇に転じたようです。その要因について、知る範囲で説明いたします。

1. 輸送用コンテナの不足

コロナウィルスの影響で、巣ごもり需要が世界的に急増し、それに対応するために大量のコンテナが海上を行き来する事態になりました。そして、海上輸送されてきた大量のコンテナを陸上輸送する際に、港の作業員やトラックドライバーが不足し、港にコンテナが大量に滞留した状態となったのです。

その結果、世界的にコンテナが不足し、日本の外材輸入にも大き

な影響を及ぼしており、足りない分を国産材から調達しているということです。

2. アメリカの住宅需要

コロナウィルスの影響で、アメリカ国民が大都市からそれ以外の地域へ住居を構える傾向にあるようです。それにより、アメリカ国内の木材消費が増加し、米材がほとんど輸出されなくなり、日本国内のメーカーが、足りない材を国産材で手当てし始めているということです。

3. チップ材需給バランスの崩れ

国内で木質バイオマス発電所が数多く建設され、その発電に必要な木質チップの需要が急激に増加しています。近畿圏でも木質チップ需要が逼迫しており、チップ用材が取り合いの状況にあります。また、供給に足りない分をチップ材より上質の合板材などから手当てする業者もあり、チップ材のみならず合板材の価格にも影響を与えています。

以上のような要因で、国産材需要が高まりを見せる中、山からの供給量が少な

いために需給バランスが崩れ、国産材の取り合いとなり価格上昇に繋がっているのではないかと考えられます。

木材価格上昇の要因は、この他にもあるかとは思いますが、木材生産をする川上側としては有難いことに間違いありません。

今後もこれまで同様、情報収集を怠ることなく、組合員の皆様の木材を少しでも高く売ることが出来るよう励んでまいります。

(小林)



森林整備の進捗状況

前号の森林だよりで、令和3年度の町内における森林整備事業計画をお知らせしておりますが、現在の整備状況についてお伝えいたします。

【3月末時点の完了現場】

志和賀地区・後山
保野田地区・安場

【現在施工中現場】

志和賀地区・大日向
四ツ谷地区・積谷、井ノ谷
中世木地区・千切迫、空ヶ谷
殿田地区・向山

【調査中の現場】

四ツ谷地区・上ミノ谷
生畑地区・小津谷・ハリマ岳

以上が4月9日時点の森林整備進捗状況となります。

施業現場によっては、通行止めなどの規制を掛けさせていただいておりますので、お気付きの点やご要望等がございますでしたら、森林組合・担当プランナーまでご連絡いただければ幸いです。

(小林)

山林異動届等の提出について

森林だよりではお馴染みの内容となっておりますが、次のような事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

- 名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した
- 名義人が亡くなり相続をした
- 売買・贈与などで山の面積が増えたり、減ったりした
- 引っ越しをして住所が変更になった
- 共有林などの代表者や会計責任者が変更になった

今後、森林だよりや各種案内文など、皆様のお手元に間違いなくお届けしていくためにも、是非御理解と御協力よろしくお願いいたします。

(出野)



「森の道具屋」感謝祭について

日頃より「森の道具屋」をご愛顧いただきありがとうございます。

昨年は、コロナウィルス感染拡大防止対策として、年3回開催している『お客様感謝祭』を、土曜日・日曜日に開催するのではなく、平日1週間を売出期間とする方法を取りました。

多くのお客様から、『残念だ』というお声をいただいておりますが、お客様や販売業者、組合職員の安全を第一に考えさせていただいた結果ですので、ご理解をいただければと思います。

しかしながら、「森の道具屋」としましても、一大イベントとして毎年開催してきましたので、今年是非とも開催したいと考えております。現時点で考えている開催案としては、年3回(春・夏・秋)の開催を年2回(夏・秋)の開催にし、その2回に全力を注ぐ決意であります。

ご来店いただいたお客様に、目一杯喜んでいただく内容を企画中です。お頼みしみに！

(近藤)

目立て講習会について

「森の道具屋」にお越しただきお客様から、「チェーンソーの刃を自分で研ぐんやけど、全然切れへんねん。何が悪いんかも分からんし、研ぎ方講習会してくれへんかあ」と言ったご要望がありました。それも一人、二人ではなく多くのお客様から。

チェーンソーの目立てがきちっと出来ていなければ、伐るのに時間がかかるばかりではなく、燃料も勿体ないです。また、伐れないからと力任せにチェーンソーを押し当てたりしていると、事故に繋がる危険性も高まります。

皆様の安全と、より快適にチェーンソーをお使いいただくために、森の道具屋では『目立て講習会』の開催を計画しております。計画段階ですので、日程など詳細は決まっておりますが、チェーンソーの使用頻度が増す秋頃を予定しております。

詳細が決まり次第、皆様には連絡させていただきますのでお楽しみに！

(出野)

椎茸菌入り原木いかがですか

今年も大変ご好評いただき、シイタケ菌は完売となりました。今年は駒菌の直径が8ミリから9ミリに太くなったり、一袋の駒数が500駒と1,000駒の2種類あったものが、800駒の1種類だけになったりと、変更が多かったにも関わらず皆様にお買い上げいただき、本当にありがとうございます。

椎茸菌入り原木につきましては、まだ少し在庫がございます。115早生形成菌を植菌した原木とミニ原木、駒菌を植菌した原木の3種類ございます。

駒菌を植菌した原木については、植菌が一年前だということもあり、既に椎茸が発生している状態のものもあります。菌入り原木も大変人気の商品となっておりますので、残りの在庫もそれほど多くはありません。お電話にてご予約いただいても構いませんし、ご入用の方はお早めにお買い求めください。

【早生形成菌入り原木】

1本…870円

【駒菌入り原木】

1本…750円

【早生形成菌入りミニ原木】

1本…380円

(近藤)



(資料提供・北桑木材センター R3, 3, 26)

スギ	中目	4 m × 18 ~ 24 cm	¥ 13,500 ~ 15,000	スギ24cm~30cmの
	"	4 m × 24 ~ 30 cm	¥ 16,000 ~ 18,000	引き合いが強い
	柱	3 m × 16 ~ 20 cm	¥ 15,000 ~ 16,000	
	"	6 m × 16 ~ 20 cm	¥ 13,000 ~ 16,000	合板材は依然とし
元木	良材	4 m × 24 cm上	¥ 100,000 ~ 130,000	て高値
ヒノキ	柱	3 m × 16 ~ 20 cm	¥ 15,000 ~ 18,000	
	"	6 m × 16 ~ 20 cm	¥ 18,000 ~ 20,000	※左記の金額は1
	中目	4 m × 18 ~ 24 cm	¥ 16,000 ~ 18,000	立法メートル当たりの
	土台	4 m × 14 ~ 16 cm	¥ 20,000 ~ 24,000	金額です。
元木	良材	4 m、6 m共	¥ 150,000 ~ 200,000	

日吉町内に住んでおられる方は、こんな町内放送を一度は耳にされたことがあるのではないのでしょうか。

『殿田小学校からのお知らせです！』

今日は低学年下校の日です。

お仕事の合間に僕たちのことを見守っててください。

今日は〇〇をしました。とても難しかったけど、頑張れて良かったです。』

言葉を文字にすると、子供たちの声の抑揚が全く伝わらないのですが、この放送の最初から「見守っててください。」

までは、元気にハキハキと話します。それ以降の「今日は〜」になると、急に恥ずかしそうに声が小さくなってしまいます。前半部分は定型文が決まっています。後半部分は、児童が今日一日の出来事を振り返って、頑張って自分で考えて伝えておられるのではないかと思えます。

その後半部分を必死に伝えようとしている様子が凄く可愛くて愛らしくて、ほんの1分余りですが、私の密かな癒しの時間です。

私の娘も昨年小学校一年生になり、私

「おちゃんがさあ」何て言いながら、一日の出来事を頭をフル回転させて必死に伝えようとしてきます。

そんな娘に時たま「パパは今日何してたん？」と聞かれると、「え？パパ？そら仕事に決まってるやん」と答えながら「俺何してた？」と考え込んでしまう時があります。すると娘が間髪入れず「仕事は知ってるわ。どんな仕事してたんか聞いてるんやんかあ？」と笑顔で追い込みをかけてきます。「パパなあ、今日なあ、何してたかなあ」と急に声が小さくなってしまいます。

日々、漫然と仕事をこなしているだけだということを思い知らされる瞬間です。

組合の運営体制が新しくなり、更なるレベルアップが求められる中、今のままの仕事してたのでは振り落とされます。家に帰って娘に「聞いて。今日な、パパなこんな仕事してきてん。どや凄いやろお」と楽しそうに話せるよう、また、振り落とされないよう、新年度も頑張りたいと思います。

子供たちの元気な声に癒されながら。

(小林)